平成19年度 事務事業評 表 [様式1] 価 記入年月 平成19年4月6日 記入 者 連絡先 5342 保健福祉部 課 陽光園 課長名 高橋 哲 平成18年度部名 名 課長名 平成19年度部名 福祉部 課 陽光園 橋本 修一 知的障害者更生施設(第三陽光園)運営事業 事 務 事 業 名 予算上の事務事業名 第三陽光園 1 総合計画における位置づけ 施策 コード 11320 「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして 標 安心して生活できる福祉社会をつくります 策 名 政 第1章 名第3節 本 施 策 障害者の自立支援と社会参加 施 策 名第2施策 療育体制の整備と保育・教育の充実 2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 知的障害者福祉法・同施行令・同施行規則、指定知的障害者更生施設等の設備及び運営に関する基 準、障害者自立支援法・同施行令・同施行規則、相模原市立療育センター条例・同施行規則 3 個別計画の概要 概要 計画名 計画年次 年度~ 年度 4 事業形態の区分 施設運営 ▼ 5 事業開始年度 昭和63年以前 • 6 事業概要 (1)事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2)対象(誰、何) 知的障害者通所更生施設として、利用者の生活の質の向上や社会参加の促進を図りな 概ね18歳以上の知

知的障害者通所更生施設として、利用者の生活の質の向上や社会参加の促進を図りながら、利用者一人ひとりがその人らしい充実した生活を送ることができるように支援していくことを目的としている。

概ね「8歳以上の知 的障害者とその家族 (平成19年4月1 日現在32名)

「新世紀さがみはらプラン」や「陽光園の運営のあり方懇談会」に基づき、平成18年 度から第三陽光園の運営業務を(社)相模原市社会福祉事業団に委託している。

(3)平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。

運営委託料55,069千円

単位あたり経費(円)

度

比

前

- ・生活支援:日常活動として農芸・陶芸・工芸・木工などの作業、定期に公共交通機関を利用した外出などの社会体験活動、文化活動及びスイミングなどの健康作りを実施 ・家族支援:連絡帳による日々の情報交換、定期及び随時の相談による支援と関係機関との連絡調整、父母連絡
- ・家族支援:連絡帳による日々の情報交換、定期及び随時の相談による支援と関係機関との連絡調整、父母連絡 会の開催
- ・地域との関わり:周辺作業所等とのレクレーション交流等

4,050

7 関連事業・類似事業叉は他市の状況

他市においても、同様の事業を実施している。

8	事業費の推移					〔単位:千円〕			
年	度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
事	業費	6,377	5,984	59,797	59,646	59,646			
	一般財源	0	0	36,379	30,702	30,702			
	受益者負担金	0	0	0	0	0			
	その他の特定財源	6,377	5,984	23,418	28,944	28,944			
人	件費の合計	60,092	59,952	24,150	805	805			
事	業コスト合計	66,469	65,936	83,947	60,451	60,451			
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率									
	事業名 (主たる事業名)	利用者文化活動	事業	対象名称 と単位 第三陽光園利用者、人					
年	度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
事	業コスト(主たる事業)	1,211	1,337	1,372	1,372	1,372			
対	象 数	299	323	354	354	354			

3,876

0.94

3,876

1.00

3,876 1.00

4,139

1.02

10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの								
指標名 と単位 利用者文								
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
実績	143.0	161.0	162.0					
目標 標	156.0	168.0	162.0	162.0	162.0			
目標達成度(%)		95.8	100.0					
	・・もたらしたい♬	成果の達成度を数 指標式と □ ### ### ### ### ###################	【値化したもの					
指標名と単位出席率	満足度を測る							
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
実績	4824.0	5702.0	6044.0					
目標 標	5631.0	6356.0	6841.0	7590.0	7590.0			
目標達成度(%)	85.7	89.7	88.3					
12 個別評価 (1) 妥当性の評値	ェ (1.豆出で)	to D. 辺尖州	- !− ≐田時がなる。	(・豆坐づか口)				
(1) 妥当性の評価			tに課題がある・ ことが義務付けら					
H					である			
l a t		」・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。 ☑ ・公益性が高い、または必需性が高い事業である。						
	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。							
1	✓ ・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。							
(2) 有効性の評価	西 〔A:有効でる	[A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]						
Γ .			とめに大きく貢献					
l A			くきく貢献してい					
'`	 → ・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。 → ・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。							
(3) 効率性の評価			対象は事業を実施し 上を高める余地がる					
(3 <i>)</i>		スパ・ロ・効率性 の経費は適正であ		かの・C・刈土り	'志い」			
	・再任用や非常	学勤職員などを活	ラン。 用しても、これり	メトのコスト節減	の余地がない。			
A		✓ ・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。✓ ・受益者負担や補助等の割合に問題はない。						
<u> </u>		・事業の実施方法や実施体制は適正である。						
(4) 民間活力また	とは市民協働の導ん							
			いて、民間で実施する方が適している。					
L		」・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。□・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。						
H			であるより適している。					
13 総合評価(-		9717.16日至10日	まなみのかいぼ り	CVIO				
(1) 自動判定結果								
	〕:良	好な状態を維持す						
	〔 〕: 概ね良好な状況である事業							
1		直しを行う必要が		La . A - A - HE ME				
/ 2 / 東米丘笠畑 E			木止、廃止を検討		ᆠᄶᇚᄆ			
(2) 事業所管課長	長による評価(今後	多の方向性) (3) 事業所管課長 これまでのサービ	<u> </u>				
	・拡充・充実	ال الم	これな このり こ					
現状維持	・現状維持				-			
	□ ・見直し							
	・廃止	· · ·		7 th				
	び効率性を高める <i>1</i> いては、総務班付に		15 課題として認		フサービフの銛粕			
陽光園に配置し、社			障害者自立支援法の施行に伴い提供するサービスの種類 を見直しする必要があるが、新サービスへのスムーズな					
ら円滑な移行を図っ			移行を図ること。					
16 二次評価								
(1) 局内評価会議	義による評価 (今	後の方向性) (2) 二次評価コス	ハント				
	・拡充・充実							
▋ 現状維持 □	☑・現状維持							
プルイ八が生 1寸	□・見直し							
I	・廃止							